

障害に対応した水害ハザードマップ
に関するアンケート調査結果

障害者に対応した水害ハザードマップに関する 自治体アンケート調査結果

アンケート回答日：2021年6月23日～2021年7月9日

回収状況：91.0%（=1591自治体/1747自治体）

■回答状況（2021年8月4日現在）

表 1 回収状況

都道府県	回答済自治体数	未回答自治体数	全自治体数	都道府県	回答済自治体数	未回答自治体数	全自治体数
北海道	179	6	185	滋賀県	19	0	19
青森県	39	1	40	京都府	26	0	26
岩手県	33	0	33	大阪府	43	0	43
宮城県	25	10	35	兵庫県	41	0	41
秋田県	25	0	25	奈良県	39	0	39
山形県	30	5	35	和歌山県	30	0	30
福島県	53	6	59	鳥取県	19	0	19
茨城県	44	0	44	島根県	19	0	19
栃木県	25	0	25	岡山県	27	0	27
群馬県	27	8	35	広島県	23	0	23
埼玉県	63	0	63	山口県	19	0	19
千葉県	54	0	54	徳島県	21	3	24
東京都	62	0	62	香川県	17	0	17
神奈川県	22	11	33	愛媛県	20	0	20
新潟県	30	0	30	高知県	24	10	34
富山県	15	0	15	福岡県	60	0	60
石川県	19	0	19	佐賀県	20	0	20
福井県	17	0	17	長崎県	20	1	21
山梨県	14	13	27	熊本県	45	0	45
長野県	1	76	77	大分県	14	4	18
岐阜県	42	0	42	宮崎県	26	0	26
静岡県	35	0	35	鹿児島県	41	2	43
愛知県	54	0	54	沖縄県	41	0	41
三重県	29	0	29	合計	1591	156	1747

※ 長野県は全自治体からの回答を合わせて1つの回答としている

■ アンケート結果

① 障がいに対応した水害（洪水等）ハザードマップ（※）を作成していますか？

障害者に対応した水害ハザードマップを「作成済み」及び「作成中・検討中」としている自治体は全体の10%に満たない状況である。

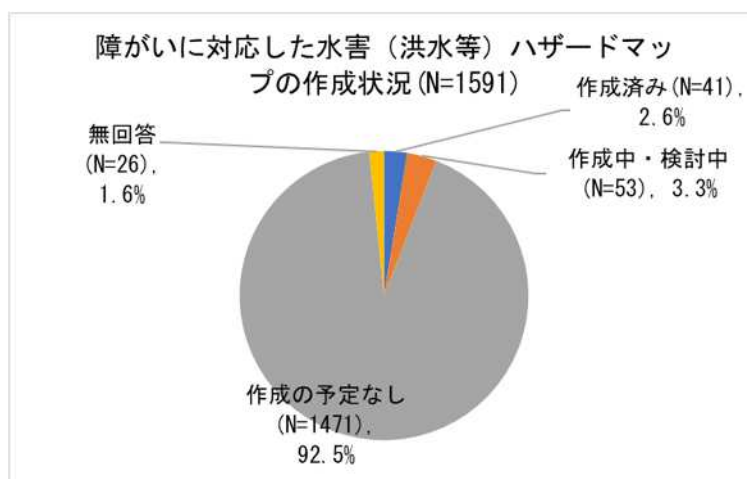


図 1 障がいに対応した水害（洪水等）ハザードマップの作成状況

② どのような障がいに対応した水害ハザードマップを作成済み・作成中・検討中ですか？また、作成にあたって、具体的にどのような工夫をしていますか？（※②-2 自由記述欄）（複数回答可）

「作成済み」「作成中・検討中」と回答した自治体のうち、視覚障害に対応したものが74回答と最も多く、次いで聴覚障害が25回答。

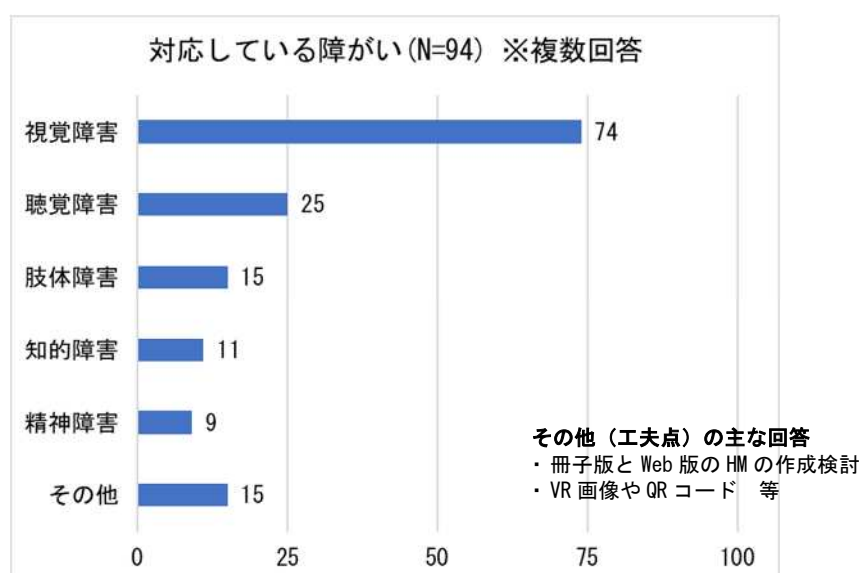


図 2 対応している障がい

③ 障がいに対応した水害ハザードマップを作成や検討したきっかけは何ですか？
(※③-2 その他記述欄)

障がいに対応した水害ハザードマップを作成・検討したきっかけとしては、「福祉のまちづくりとしての行政目標」が 34 回答と最も多く、次いで「必要性が高いと感じるため」が 20 回答。

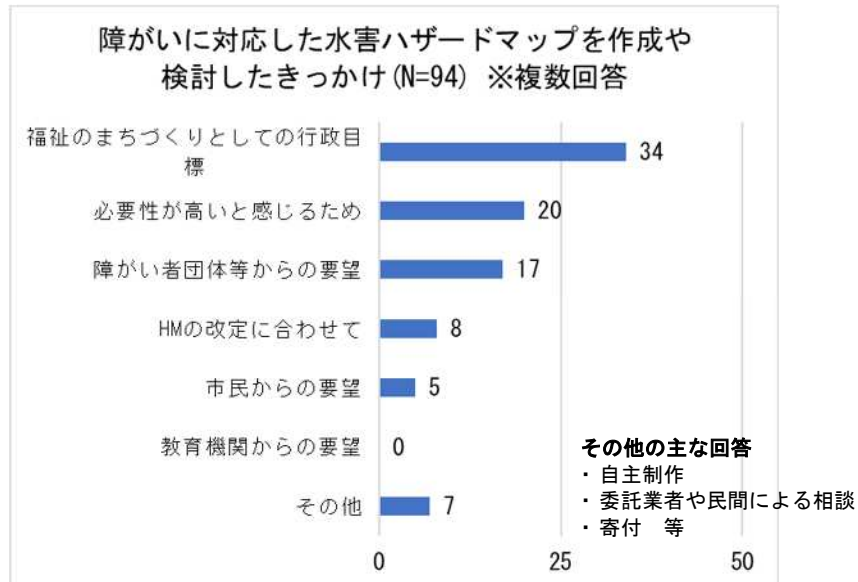


図 3 障がいに対応した水害ハザードマップを作成や検討したきっかけ

④ ハザードマップに記載された、何の情報が伝えられるようにしていますか？
(複数回答可)

ハザードマップに記載されている情報としては、「浸水範囲」が 57 回答と最も多く、次いで「避難所に関する事項」が 38 回答。

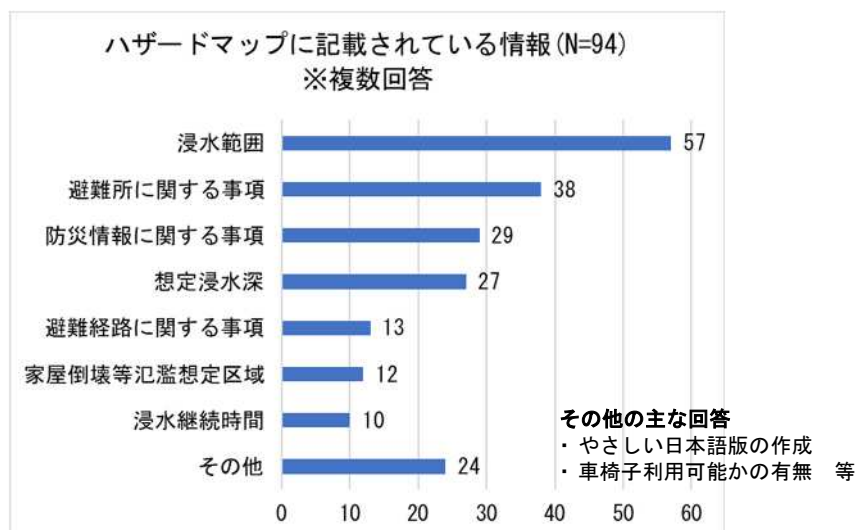


図 4 ハザードマップに記載されている情報

⑤ 作成済み（または作成中、検討中）の水害ハザードマップ内容の、障がい者への伝達手法は何ですか？（複数回答可）

障がい者への伝達手法としては、「音声」が 48 回答と最も多く、次いで「点字」が 32 回答。

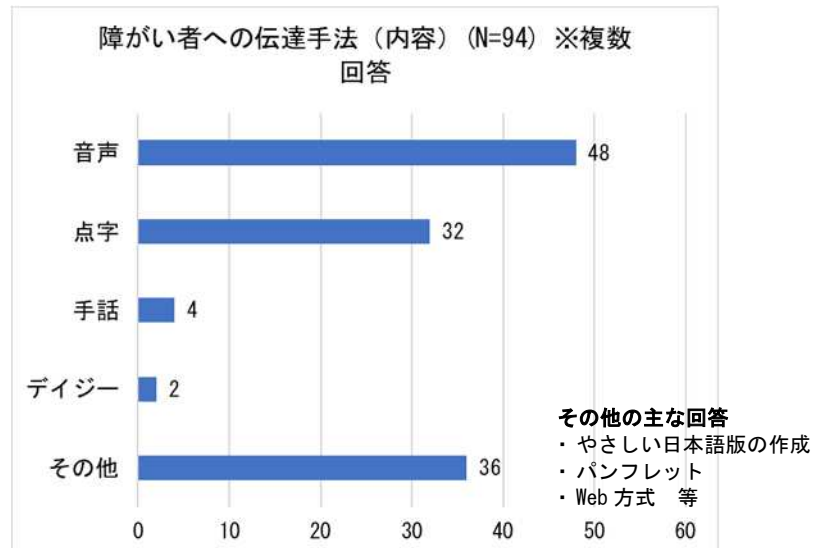


図 5 障がい者への伝達手法（内容）

⑥ 作成または検討部局を教えてください。（複数回答可）

作成・検討部局は「防災部局」が122と最も多く、次いで「福祉部局」が10.1%。

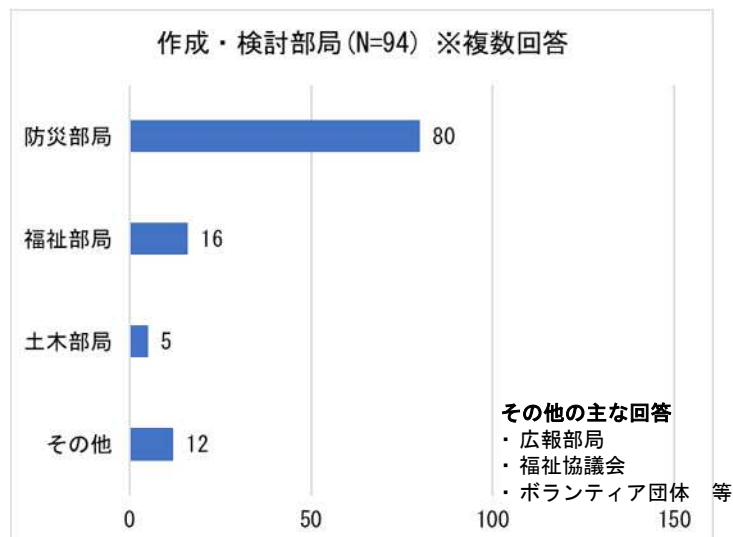


図 6 作成・検討部局

⑦ 作成時期 or 作成の予定時期を教えてください（西暦表示）

作成時期・作成予定時期は、「2021年度」が30回答と最も多く、次いで「2019年度」が25回答。

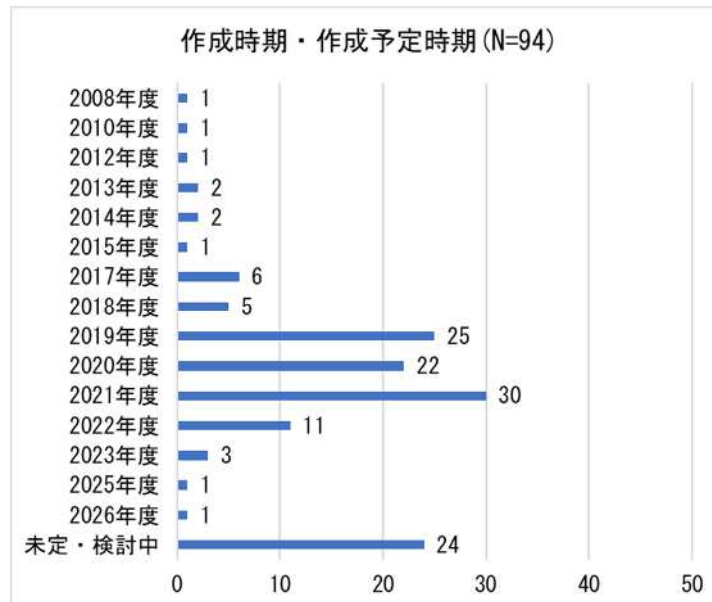


図 7 作成時期・作成予定時期

⑧ 作成または検討にあたり協力いただいた法人や団体や機関、協力者などがあれば教えてください。（複数回答可）

作成段階での協力団体・法人、協力者は、「協力機関なし」での作成が41回答と最も多く、次いで「NPO法人・ボランティア団体」が29回答。

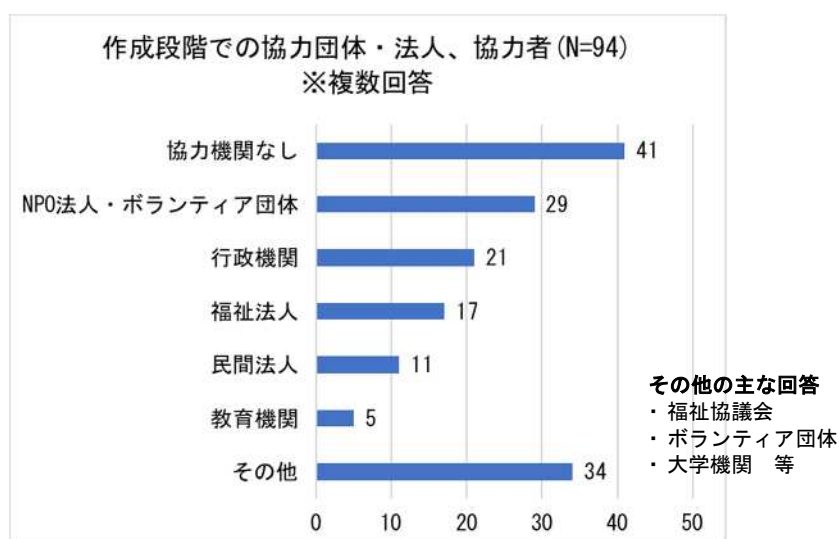


図 8 作成段階での協力団体・法人、協力者

⑨ 作成した障がい対応のハザードマップの公開・配布方法を教えてください。
(複数回答可)

障がい者に対応したハザードマップの公開・配布方法は、「自治体のHPで公開」が80回答と最も多く、次いで「直接配布」が60回答。

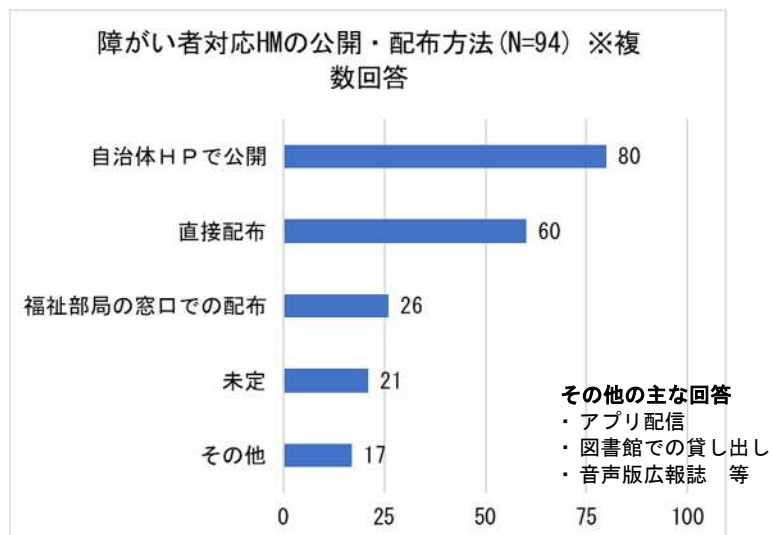


図 9 障がい者対応 HM の公開・配布方法

⑩ HPで公開する際に、障がい者の方へのアクセシビリティ（利用者が機器・サービスを円滑に利用できること）に配慮していますか。

HPでの障がい者へのアクセシビリティ対応としては、「配慮している」自治体が23.4%に留まった。

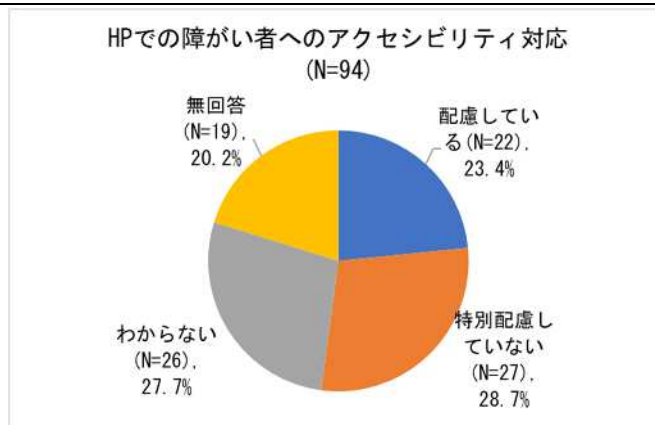


図 10 HPでの障がい者へのアクセシビリティ対応

⑪ 障がいに対応した水害ハザードマップを作成する際に、防災交付金等の交付金を活用しましたか？

交付金の活用は、「活用した」自治体が21.3%に留まった。

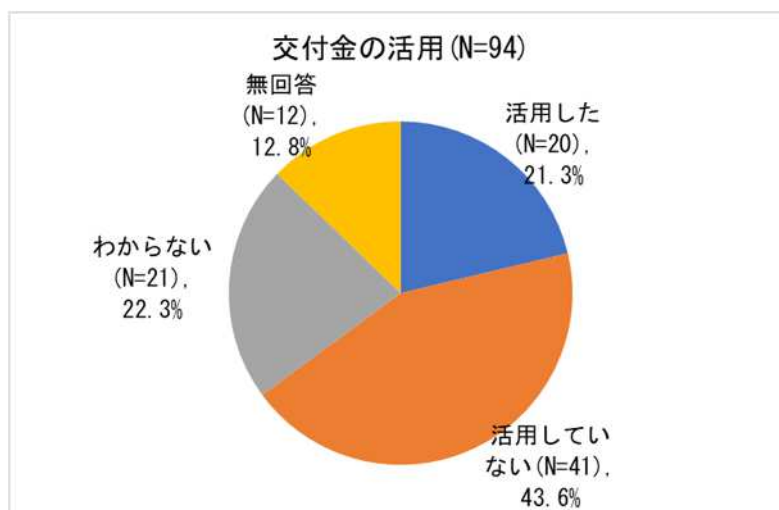


図 11 交付金の活用

⑬ 現在、公開されているハザードマップは、「水害ハザードマップ作成の手引き」（平成 28 年 国土交通省）で示した配色と合致していますか？

「水害ハザードマップ作成の手引き」の配色との合致については、「合致している」及び「一部合致」で 7 割弱が手引きの配色とおおよそ合致している。

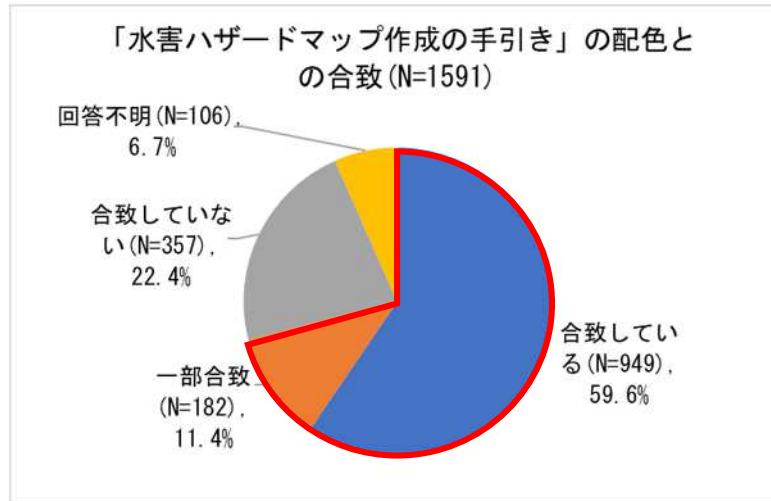


図 12 「水害ハザードマップ作成の手引き」の配色との合致

⑭ 合致させていない理由がありましたら、教えてください（自由記述）

手引きの配色と合致させていない理由としては、「色の違いが判別しにくい等の意見があるため」が 289 回答と最も多く、次いで「想定最大規模未対応のため（ハザードマップが平成 28 年以前に作成された）」が 173 回答。

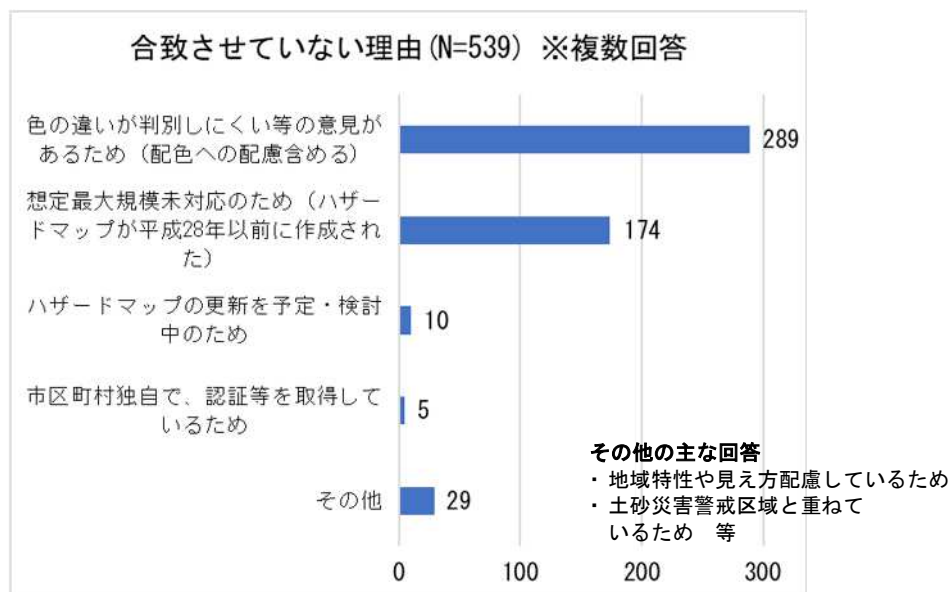


図 13 合致させていない理由

⑫ 障がいに対応した水害ハザードマップを検討・作成・公開・活用する際の課題と改善策がありましたら、教えてください。（自由記述）

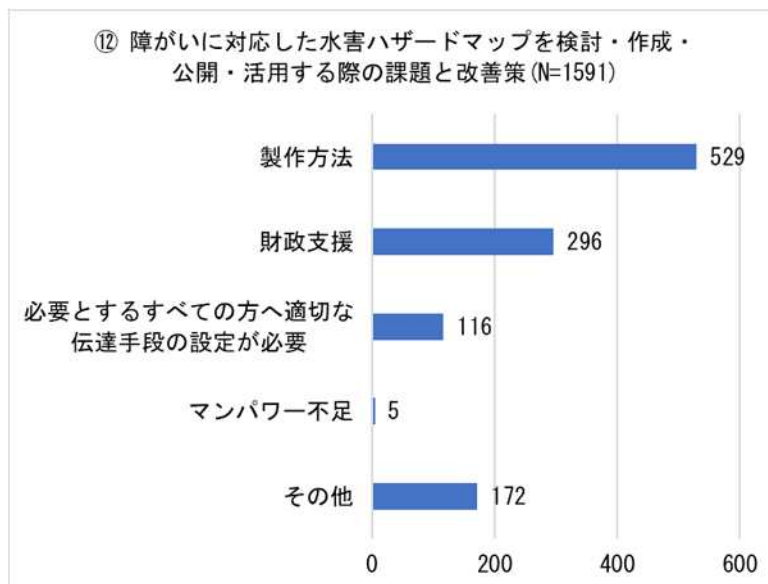


図 14 障がいに対応した水害（洪水等）ハザードマップの作成状況